

故・北池真慈さん(反町)が 献血70回達成

日本赤十字社銀色有功章受章

故・北池真慈さん(反町)が日本赤十字社銀色有功章を受章され、その伝達が7月17日、町長室で行われました。

この章は献血回数70回を達成された方に対し、日本赤十字社から表彰されるものです。

当日は、銀色有功章および記念品が町長から北池さんの妻・昭子さんへ伝達されました。

北池さんは生前、月に1回から2回のペースで主に成分献血をされていました。

献血者が減少傾向にある中、他の模範となる活動に紙上より感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りします。



銀色有功章を伝達された
北池真慈さんの妻・昭子さん(左)



1_ 発表した12人と関係者の皆さん / 2_ 発表者の意見に耳を傾ける生徒 / 3_ 最優秀賞に輝いた藤井万希子さん

日頃の思いを発表

平成26年度「少年の主張大会」

小野町青少年健全育成町民会議主催の少年の主張大会が7月2日、小野中学校体育館で開かれました。

この大会は、中学生が日頃考えていることや感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めることを目的に毎年開かれています。

小野中学校から各学年4人、計12人が出場し、学校や家庭、社会など身の回りのことをテーマに思い思いの意見を発表しました。

審査の結果は次のとおりです。(敬称略)

●最優秀賞

「『福島』を伝える」 藤井万希子(3年)

●優秀賞(発表順)

「私たちの千本桜」 堺 ゆり(1年)

「不安と期待」 長谷川美咲(2年)

「言葉にしたその先に」 岩塚 茜菜(3年)

「絆の正体」 吉田 龍弥(3年)

「失敗も私の一部」 会田 奈々(3年)

●努力賞(発表順)

「読書のたのしみ」 長久保絢子(1年)

「サッカーから学んだこと」 長谷川碧乙(1年)

「私を変えた後悔」 岩塚 李桜(1年)

「一人一人の心がけで」 遠藤 玲奈(2年)

「心から心へ『日本の和食』」 橋本千恵子(2年)

「身近な人のために」 柏原 力樹(2年)